

若い人たちをターゲットにした男女共同参画の取組について

市内大学等の協力が得られるよう働きかけを行い、学生など若い人たちの斬新な発想と行動力を活かし、男女共同参画社会の形成に向けた取組を推進する。

前回出された取組に関し、さらに深めた議論をお願いしたく、関係者の協力性、実現性、実行しやすさ、効果の期待度などの視点にて、その進め方や実施方法・内容について、御意見・御提案をいただきたい。

1 セミナー・講座等の企画

- 大学等の協力を得た中で、大学内の場所においてセミナー、講座を開催

テーマ例：「ジェンダーってなあに」

「ジェンダー平等って ということ」

- ・不人気なワードは避ける 「男女共同参画」という言葉は分かりにくい
- ・興味、関心を持ってもらえるような「きっかけ」「入り口」の工夫
- ・ツイッターで話題になっている方のゲストトーク など

- 大学の人権講座の一つとして企画。その中で興味のある学生に呼びかけ、ワークショップ等を実施してもらう

※セミナー等に関しては、「学生とのトーク」開催前に設定するなど連動、関連させて実施してはどうか。

2 学生とのトークの場

- 気兼ねなく、自由でフラットに自分の思いや考え、意見を話すことができる場とする。

- ・身近な性別役割分担意識などに対し若い人たちの思うこと
- ・LGBT、セクハラ、パワハラのこと、賃金格差はなぜあるのか

- 1回のみで終わらず、2～3回の頻度で開催し、テーマや題材のチョイスにおいても関連性・連続性を持たせる。

★どのようなテーマや題材を選択すれば良いか

- 「若者と議員の語り場」の企画

3 既存イベント等を活用した企画

- 現在、市においては、種々のイベントを実施している。特に一定時期に集中して開催されており、主体がどこで、どんな目的のイベントなのか分かりづらい
 - ・イベントに繋がりをもたせて内容を充実させ、その中で、若者が主体的に関わって企画できるような分野を作る
 - ・「人として当たり前生きる権利を考えるつどい」において、主体的な運営による学生の企画ブースを設ける
 - ・若者への企画ではなく、若者の企画とする。若者主体の若者が自由に意見を言い合える場の設定
 - ・学生に「成果物」のようなものを創造してもらおう。映像、短いドキュメント、物語など制作してもらおうことで、主体性が引き出せる
- 学園祭への参画
 - ・ブースの出店、ステージを借用した出し物、ジェンダーに関わる芝居、ファッションショーなどを企画する
- 仮称「ジェンダーフェスタ」の検討
 - ・継続性の検討、周辺にどんな波及効果をもたらすかが重要となる
- キャラバン隊
 - ・大学生が小学校に赴き、授業の一部を使用させてもらい啓発活動を実施する
 - ・楽しんでもらえる教材を使ってプレゼンを行う

4 大学(窓口)への働きかけ

- ジェンダー関連で講義を担当している先生
- 地域のイベントに積極的に関わって活動している先生
- 学生課などに正式に働きかけをする
- 学生のグループ・サークルなどをきっかけに。他の近隣の大学との関係性を上手く築きながら進める

5 情報の発信

- ・ハッシュタグ、SNSで発信
- ・学内SNSがあれば活用
- ・ゼミや講義に参加している学生にチラシ等を配布